株式会社山田養蜂場（訪問日：平成30年6月25日）

雇用管理の基本

山田養蜂場本社をはじめ、山田養蜂場グループの従業員数は、2016年度末で1,558人を数えます。同グループの雇用管理のあり方については、社員一人ひとりの個性や特性を生かす、ということが基本に据えられています。例えば、山田養蜂場グループ全体で、様々な契約形態の社員がおられる中で、社員への登用は、個人の特性や技能を含めて御本人の御希望もお聞きしながら決定しています。

一人ひとりの労働生産性を高め、働きたいと希望する人すべてが活躍できるようにすることは、働き方改革の目指すところであるといえます。一人ひとりの意向を大切にしつつ生産性の向上に努めている同社の姿勢は、こうした基本的な理念と重なっています。

労働時間の変動への対処

山田養蜂場では時期により出荷の波があり、業務の繁閑の差は大きいといえます。労働時間も変動しますが、これに対応するため、同社では1年単位の変形労働時間制を導入しています。また、労働基準法令では、臨時的に限度時間を超えて時間外労働を行わなければならない特別の事情が予想される場合に、特別条項付き協定を結べば、限度時間を超える時間を延長時間とすることができますが、同社では現在これを42時間としています。

労働時間を抑制するためには、生産性の向上が鍵となります。同社では梱包を自動的に行う設備を導入するとともに、物流の効率性を上げることを狙いとしてその拠点化を図っています。

社名	株式会社 山田養蜂場本社
所在地	〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194
事業内容	ミツバチの飼育及びミツバチ製品の原料仕入・研究・開発・製造・販売
創業	1948年5月
設立	1982年8月
代表取締役	山田英生
資本金	1億円 （グループ総資本金9億3770万円）
従業員数	1,558人（グループ計）

新規学卒者の入職状況等

必要なマンパワーのうち50～60％程度は、新規学卒者によって充当されています。ただし、山田養蜂場本社は岡山市内から車で1時間半程度のところにあり、就業場所の点では不利になる場合があります、との指摘がありました。

必ずしも直接消費者の顔を見て販売する訳ではないので、コミュニケーションスキルに不安を覚える応募者がいますが、同社では採用段階でそうした能力を十分に具えている人材を採用するというよりは、入社してからの育成にも重点を置いています。こうしたことから、同社における離職率は低い状況にあります。

なお、若年者の定着のみならず、高齢者の活躍についても配意されています。65歳以上の人が60人程度働いており（最高齢は74歳）、70歳近い人もお客様への応対を行いつつ、コミュニケーターとしての技能を若手に教えています。

その他の雇用管理上の特徴

正社員と非正社員との賃金の違いは、役割や残業の有無などでこうした相違が生じています。本社は岡山県鏡野町にあり、寮が大きな役割を果たしますが、会社規定に定められた条件で誰でも利用料を公平に寮に入ることができます。

また、介護と両立させるため、労働時間帯をシフトさせるケースが多くみられますが、代わりに出勤できる人は概ね確保できています。さらに、在宅勤務が間もなく開始されることになっており、育児休暇者などに利用が見込まれています。